

# 令和5年度とちぎローカルフードプロジェクト

R5年7月28日栃木県農政部農政課

農林水産省「地域食品産業連携プロジェクト推進事業」

## 【栃木県のLFP】

食糧供給が不安定にある中では、消費者がふるさとの味に触れ再評価し、農業の重要性を認識する機会を増やすことで、県民と食の循環を形成することが重要である。

そこでLFPの取組を通じて、社会的課題の解決に向けて県内の多様な事業者がアイデアを結集するスキームの定着を進めていく

## 【令和5年度のテーマ】

牛乳消費量は全国的に低迷し、酪農経営の継続にも影響をきたしている。酪農県である本県らしさを生かし、幼児向けの乳製品を開発することで、本県の酪農の大切さと健康づくりに理解を深め、食と農の持続的な循環の足掛かりとしていく。

## プラットフォーム運営（委託 ※（株）ファーマーズ・フォレスト）



## プラットフォームメンバーのネットワーク、商品開発検討

## 乳製品の新商品開発と販路開拓

### STEP① (7～9月)

#### ◆全てのメンバーで可能性を探る



①研修会

②ワークショップ

③戦略会議

社会的課題の共通理解

マーケット分析

消費者の声の反映

開発手法

販売・露出方法

ビジネスの決定

### STEP② (9月～)

#### ◆ローカルフードビジネス (商品開発、広報検討)

- ①幼児期から心を育てながら安心して食べられる商品を開発
- ②「酪農を知ってもらい、乳製品消費への理解促進」のための広報ツールを作成



### STEP③ (2月～)

#### ◆消費者評価、販売促進

- ①乳幼児検診時のサンプル商品の配付や、ママと子どもイベントとのコラボ実施
- ②小売でのテスト販売



★LFP商品を通じた食の見直しにアプローチする手法(SNS等の広報やイベント)を平行で検討し、広く発信

消費者と食と農の環による、持続的な社会の形成